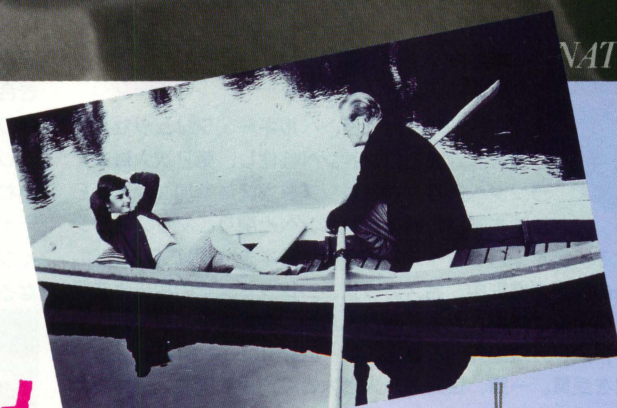


フリツの調べに心がゆれて  
 パリとオードリーと恋と…甘い昼下り。

*It was FASCINATION I know,  
 And it might have ended  
 right then at the start,  
 Just a passing glance,  
 Just a brief romance,  
 and I might have gone  
 on my way empty hearted.  
 It was FASCINATION I know,  
 seeing you alone with the  
 moonlight above, then I kissed you,  
 I touched your hand,  
 and next moment  
 FASCINATION turned to love.*



オードリー・ヘプバーン  
 ゲーリー・クーパー  
 モーリス・シュヴァリエ  
 ジョン・マッギヴァー  
 バンドッド  
 リーズ・ブルダン

製作・脚色・監督 ビリー・ワイルダー  
 原作「アリアス」クロード・アン  
 脚色：トム・レイ、ジャック・モド  
 撮影：ロバート・マラー  
 編集：レオニド・アザール  
 音楽：フランツ・ワクスマン  
 監督：ジョド・ワルター・エニ  
 美術：アレキサンデル・トルナー  
 オードリーの衣装デザイン：ウベール・ジヴァンシー  
 美術：マチー・マルネックとジヴァンシー

Love in the  
 Afternoon

DIRECTED & PRODUCED  
 BY BILLY WILDER

昼下りの情事



# 昼下りの情事

## LOVE IN THE AFTERNOON

製作・監督・脚色 / ビリー・ワイルダー  
原作 / クロード・アネ「アリアーヌ」より  
脚色 / I. A. L. ダイアモンド  
撮影 / ウィリアム・メラ  
音楽 / フランツ・ワックスマン

オードリー・ヘプバーン  
ゲアリー・クーパー  
モーリス・シュヴァリエ

### 【かいせつ】

世界の恋人、永遠の妖精オードリー・ヘプバーンのアメリカ映画主演5作目。「ローマの休日」「ティファニーで朝食を」に並ぶ代表作です。監督はすでにヘプバーンの「麗しのサブリナ」で名演出を見せた名匠ビリー・ワイルダー。そして共演者はアメリカ映画きっての美男ゲアリー・クーパーとフランス映画界出身のモーリス・シュヴァリエ。名監督、名優に囲まれて、オードリーはいっそうきらびやかに光り輝き、世界中のファンのハートをとらえていったのです。ときにオードリー28歳、その初々しい美貌の全盛期にありました。

クロード・アネ原作の小説「アリアーヌ」をベースに時代、場所をがらり変えて映画化。全篇パリにオール・ロケし、ワイルダー監督独特の洒落たタッチによる、大人のためのうっとりするようなロマンチック・コメディに仕上げられています。

ジヴァンシーと専属デザイナー契約を結んだオードリーはここで純白のイキナドレスに身を包み強烈な印象を残し、美貌はさらに輝きますばかり…

「ファッション / 魅惑のワルツ」の甘美なメロディに乗って、いま映画史上に燦然と輝く恋愛映画の古典。待望のリバイバル公開です。



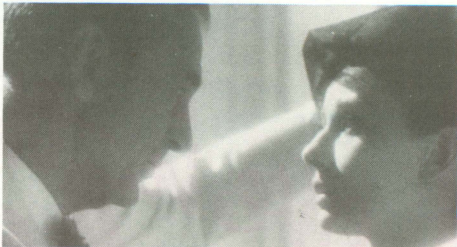
### 【ストーリー】

パリの裏町に住む私立探偵シャヴァス氏（モーリス・シュヴァリエ）には、気のおけないひとり娘アリアーヌ（オードリー・ヘプバーン）がいた。彼女は、父親が調査する事件の記録を密かに読むことを楽しみにしていた。もっかの関心は、このところ父親の記録に頻りに登場してくる世界的なプレイボーイで、アメリカの大金持ちフランク・フラナガン氏（ゲアリー・クーパー）だった。関心を持っているというより、もはや氏にお熱をあげている様子であった。

そんなある日、フラナガン氏が密会相手の夫（ジョン・マッジヴァー）から射殺されそうになる。その瞬間、なっ、なんとアリアーヌが急場を救い、それがきっかけで念願のフラナガン氏とお近づきになることができたのである。アリアーヌは、父親を出し抜いて氏を尾行していたのだ。

当のフラナガン氏は、突然現れたアリアーヌの、その初々しい美貌にとたんに虜となり、デートを申し込んだ。が、しかし、フラナガン氏の身辺調査に関しては父親以上に調べ尽くしているアリアーヌは、そこでフラナガン氏を煙に巻くことを思い立つ。フラナガン氏のようなプレイボーイには、それ以上のプレイガールぶりを見せつけなくてはいけないと思いつき、さも自分が名うてのプレイガールであるように振る舞うのであった。父親の記録から盗み読みした様々な人物のデータをつなぎ合わせて、その人物たちと自分が関係しているかのように話して聞かせるのだった。

しかも、中年男性なんかには私、全然興味がないわ…とウソぶく始末。これを聞いて、プレイボーイ道に大いなる誇りを持つフラナガン氏はいたくプライドを傷つけられ、逆にアリアーヌにさらなる興味を持ってしまったのであった…



AUDREY HEPBURN  
銀幕の妖精 オードリー・ヘプバーン

1929年5月4日、ベルギー・ブリュッセル生まれ。4歳でロンドンへ移住し、第2次大戦中オランダへ渡り、対独レジスタンスに参加。かたわらバレエを学び、戦後ロンドンへと戻り、マリノ・ランバードのバレエ学校に学ぶ。51年、「パラダイスで笑う者」（日本未公開）に端役出演。映画デビューを飾る。その映画の撮影中、名スカウト、コレット女史の目にとまり、ブロードウェイ「ジジ」の主演に抜擢される。舞台出演中、今度はウィリアム・ワイラー監督に認められ、アメリカ映画界へと進出。第一回作「ローマの休日」（53年）でアカデミー主演女優賞を受賞。一躍、世界の恋人と大きく注目を集め、アメリカ映画を代表するスターへと成長していった。

54年、俳優のメル・ファーラーと結婚。67年に離婚。69年、精神科医のアンドレア・ドッティと再婚した。

主な出演作：麗しのサブリナ（54年）、戦争と平和（55年）、パリの恋人（56年）、ティファニーで朝食を（61年）、シャレード、パリで一緒に（63年）、マイ・フェア・レディ（64年）

# 4月29日(祝)よりG・Wロードショー!

## 前売鑑賞券好評発売中!

(当日:一般1,600円/大・高1,300円/中学1,200円の処) **ペア券(お2人様で)2,300円**

正面出口 熊野神社前 ミュー2F

# 自由が丘武蔵野館

03

(717)  
6341

連日 11:15 1:40 4:05 6:30 金土のみ 8:55